利根川砂防通信
第18号 令和8年11月4日

「立山砂防女性サロンの会」現地見学会を開催しました。

とねさぼう
国土交通省 利根川水系砂防事務所

10月22日（木）・23日（金）、富山県を中心に活動されている「立山砂防女性サロンの会」の会員20名の皆様が研修の一環として当事務所管内を視察されることとなり、浅間山直轄火山砂防事業、そして榛名山麓に現存する明治時代に施工された巨石積み堰堤（デ・レイケ堰堤）を案内させていただきました。

浅間山では濁川第二砂防堰堤において融雪型火山泥流対策をご覧いただき、翌日にはデ・レイケ堰堤の視察の前に「榛名山麓のデ・レイケ堰堤を見守る会」代表の方々との意見交換を行った後、群馬県榛東村に残るデ・レイケ堰堤へ向かいました。

今後も砂防の取組に対する理解を深めていただけるよう努めてまいります。

濁川第2砂防堰堤





石田事務所長による火山砂防事業の説明

「榛名山麓のデ・レイケ堰堤を見守る会」との意見交換会



活発な意見交換が行われました。



石田事務所長による概要説明

八幡川2号堰堤





榛名山麓のデ・レイケ堰堤を見守る会　代表　大林様に説明していただきました。

「立山砂防女性サロンの会」は土砂災害の恐ろしさ、砂防事業の必要性を女性の立場から子や孫、地域の方々に語り伝えていくことを目的として設立された、立山砂防事業の女性サポーターの皆様です。（立山砂防事務所　トピックVol.18　R8.9.10より引用）